

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

【基本的な事項】

・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。
 ・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
人権・労働	1 【差別的禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	人権尊重を謳う企業行動規範や人権方針を制定。無理解から生じる差別、偏見を起さぬよう、全役職員に対し毎年異なるテーマで「人権啓発研修」を実施。人権問題も含む相談窓口を設置し社員からの相談を受付。					○			○		○							○		
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	社内規程においてハラスメントの防止と排除を徹底するために社員が順守すべき事項等を定め、適宜、当該研修を実施。ハラスメントに関する相談窓口を設置し社員からの相談を受付。					○				○									○	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	36協定に基づいた厳格な労務管理を徹底することはもとより、時間外労働・過重労働の削減に向けた取組を推進。									○										
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	無理解から生じる差別、偏見を起さぬよう、全役職員に対し「人権啓発研修」を実施。人権問題も含む相談窓口を設置し、あらゆる国籍の社員からの相談を受付。					○				○		○								
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	産業医の参加のもと、月1回「安全衛生委員会」を開催し、職場環境の改善と社員の健康保持増進に取り組んでいる。			○						○										
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	メンタルヘルスの不調を未然に防止すること（一次予防）を目的として、毎年全社員を対象としたストレスチェックを実施。高ストレス者には必要に応じ、産業医面談、人事面談を実施。健保内にメンタルヘルスの相談窓口を設置。			○																
	7 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	グループとして、ダイバーシティ&インクルージョンに関するステートメントを公表し、多様な人材の活躍と成長の実現に向けて各種取組を推進。					○				○		○								
	8 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	みずほFGグループ全体で、健康保険組合と連携し健康経営を推進。			○						○										
	9 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	階層に応じた教育・研修プログラムに加え、自己啓発・キャリアを支援する制度を整備					○				○	○									
	10 【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	福利厚生、休暇制度、教育訓練においても同一労働、同一賃金の指針に基づき、対応。									○		○								
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	紙使用量の削減を、複合機への認証機能実装や電子化に取り組むなどの施策を打ち出し推進。ごみの分別徹底を図るとともに、廃棄物発生量の削減を推進											○	○		○					
	12 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	グループ全体で定期的にエネルギー消費量を把握するとともに、CO2排出削減目標を設定し、節電を中心とした省エネ対策を講じている							○						○						

